

新橋・虎ノ門地区まちづくりガイドライン 意見交換会ニュース

新橋駅周辺エリア
2018.3.12

新橋駅周辺エリアでの意見交換会を開催しました

平成 30 年 3 月 12 日(月)の 14 時 00 分から生涯学習センター(ばるーん)で、新橋・虎ノ門地区まちづくりガイドラインについての意見交換会を開催しました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

意見交換会では、地域で大切にされている資源やまちの魅力、地域で行われているコミュニティ活動などについて意見交換しました。

出された意見を模造紙にまとめ、グループごとに発表していただきました。意見の詳細は右半面及び裏面をご覧ください。



意見交換会においていただいたご意見をふまえて、新橋・虎ノ門地区まちづくりガイドラインの中間案を作成し、出来上がりましたら、区民の皆さんのご意見を広くお伺いする中間案説明会を開催する予定です。今後も引き続きご協力の程よろしく申し上げます。

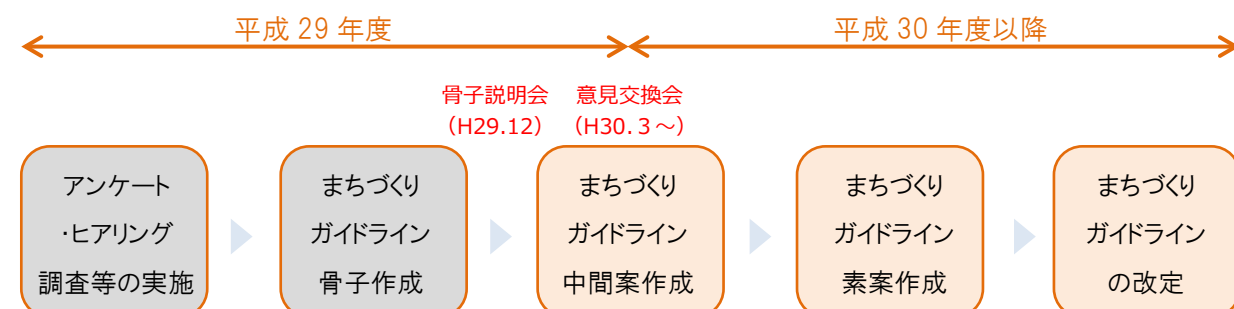
まちづくりガイドラインとは

- 港区のまちづくり分野の最上位計画である「港区まちづくりマスタープラン(平成 29 年3月)」に沿って、地域ごとの特性に応じたよりきめ細かな目標や方針、方策を示すまちづくりの手引きとして定めるものです。
- ガイドラインを策定した地域では、地域特性やニーズに応じた事業や活動を進めることで、地域の課題を解決し、個性をいかしたまちづくりを推進します。

意見交換会とは

- エリアごとに開催し、区民の皆さんからきめ細かな地域の情報や実情などを伺い、地域の課題や魅力について話し合う会です。
- 区民の皆様からいただいたご意見をふまえた、新橋・虎ノ門地区まちづくりガイドラインの中間案、素案説明会の開催については、決まりましたら区の広報やHP 等でお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。

まちづくりガイドラインの改定スケジュール

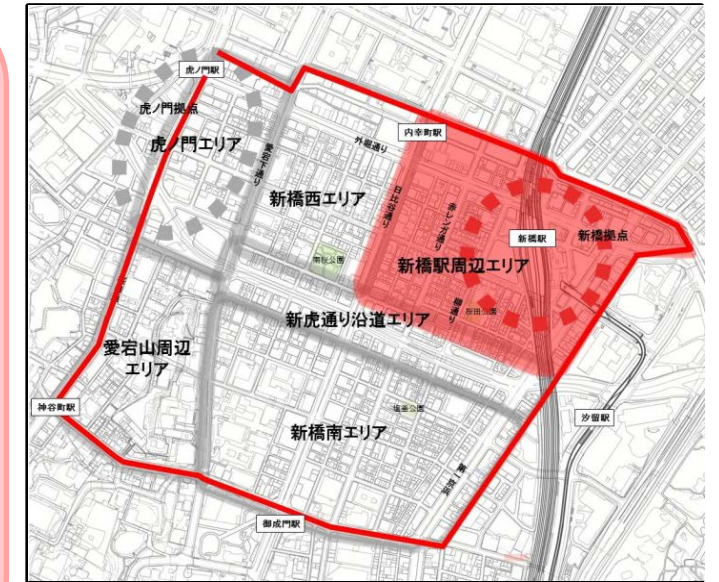


新橋・虎ノ門地区に関する取組について、様々なご意見が出されました

※意見交換会の内容を要約・整理して掲載しています。

地域の歴史をいかしたまちづくり

- 鉄道発祥のまち。テレビ中継などで全国に広く知られている SL 広場や、昭和の名建築であるニュー新橋ビルなどを有する。
- 烏森神社など歴史的な資源も存在し、歴史探索の観点でも魅力あるまちである。
- 老舗が多く残ることが魅力である。烏森花街の名残として、古くからの三味線の店などがある。
- 先般文化財登録が完了した新橋の親柱は、その場所に新橋が架かっていたことを示し、地名の由来でもあることから、地域にとって重要な資源である。
- 新橋駅のアーチレンガは適切に保存・修繕される価値があるものである。鉄道事業者にも協力してもらえると良いのではないかな。



“新橋らしさ”をいかした今後のまちづくり

- 銀座や虎ノ門などの整然としたまち並みとは対照的なごちゃまぜ感の面白さが新橋にはある。
- 西口飲食店街の路地空間は新橋の貴重な資源であり、これからも残していくべきである。
- 開発が進むにつれ、風情が失われてしまうのではないかと心配。
- 東口では看板を撤去し、まち並みを整えたが、同時ににぎわいは失われてしまったように感じる。
- 地域性を活かした柔軟な開発が進められるように行政が主導していくと良いのではないかな。

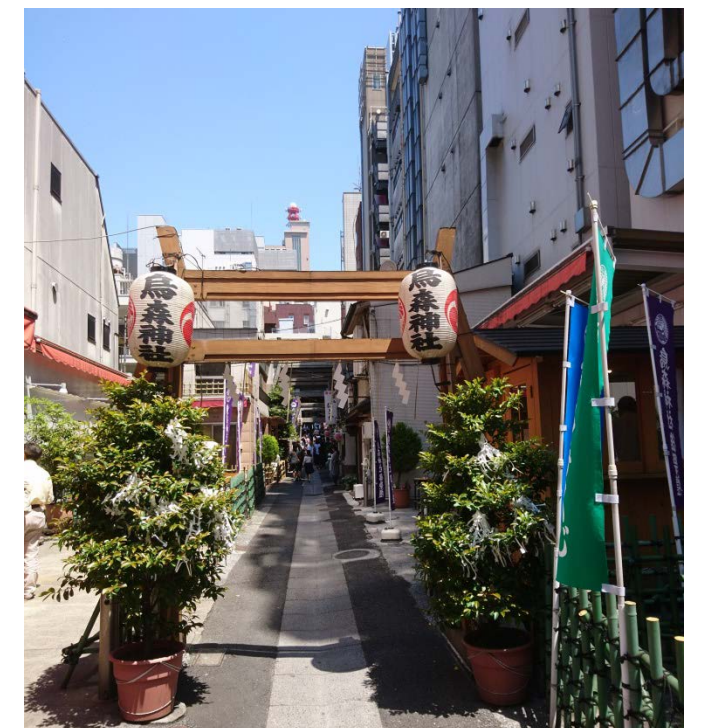


新旧の文化が混在した魅力の形成

- 汐留のような先進的なまち並みと新橋駅周辺の昭和感を残すレトロなまち並みが対照的で、写真スポットとして外国人から人気を博すなど、地域の魅力になっている。

新たな魅力の創出

- にぎわいが最大の魅力であるが土日は閑散としており、今後文化施設やソフト面の仕掛けを考えていかなければならない。



災害に強いまちの形成

- 路地裏の界わい性は魅力ではあるが、一方で細街路や建てづまりによる災害時の危険性が課題である。防災上の問題を解決しながらまちの雰囲気をついに残していくことが重要である。
- 防災性を高めるうえで、広い道路と路地でメリハリをつけることが考えられる。柳通りの拡幅は必要なのではないか。
- 電柱が災害時に倒壊すると大変危険であり、断線による火災のおそれもあるので、速やかに無電柱化を進めていくべきである。

災害に備えた地域活動を組織間連携

- 防災訓練や災害対策については、町会に限らず地域全体で考える必要があるため、今後行政と協力しながら進めていきたい。
- 連合町会やニュー新橋ビルでは、防災に対する取組を積極的に行っている。
- 防災訓練は積極的に行われているが、今後は実際に被災した際のシミュレーションについても検討していきたい。
- 防犯カメラの設置や帰宅困難者対策などの、防犯・防災対策を積極的に行っている。

多様な生活環境の形成

- 単身用の集合住宅は増加したが、地域活動への参加が期待されるファミリー層向けの住宅が少ない。
- 日用品などの買い物に不便な地域であり、今後の課題である。



歩行者を中心としたにぎわいの創出

- 電線地中化を促進することで、歩きやすく魅力のあるまちになるのではないかな。

エリア間連携の促進

- 主に新橋駅西側に、まちづくりに対する機運の高まりの色付けがなされているが、東側も含めて一体的に考えるべき。
- 新虎通りは歩きやすく魅力的である反面、新橋駅へ北上する動線が弱い。回遊性を生み出す南北の軸を整備することが大切。
- 東西のアクセスを向上させていくためには、鉄道事業者にも積極的にまちづくりに参加してもらいたい。
- 昔は新橋の有名店を目指して銀座～新橋間に人の流れがあった。銀座に隣接するという立地特性を活かしたい。
- 汐留地区の開発と新橋との連携が不十分であり、人の流れがないのが残念である。
- 銀座で出たごみが流れてくることがあるので、今後対策が必要である。



SL 広場を地域の拠点に

- サラリーマンの聖地であり、定点観測地点としても使用されている SL 広場は、新橋の大きな財産である。
- SL 広場を利用した古本市や物産展などのイベントが地域コミュニティ形成の一助となっている。
- SL 広場の電子看板ではオリンピックの映像が流れ、通行人が立ち止まるなど活用されている。
- SL 広場は待ち合わせ場所としても利用されているが、災害時にはテントを張り防災拠点としても機能しうる重要な場所である。
- 慈恵医大を拠点として組織間連携のとれた防災訓練が行われたように、新橋駅周辺にも防災拠点があると良いのではないかな。
- 港区マラソンのゴール地点を SL 広場にしていはどうか。



地域活動を通じたまちの魅力向上

- 連合町会などのつながりが強く、清掃活動などへの出席率も高い。
- 定例的に行っている清掃や花植えなどの活動をこれからも継続していきたい。
- 全国的に知られるようになった新橋こいち祭りは、地元で一から作り上げた祭りであり、町会・商店会・勤務者をつなぐコミュニティ活動でもある。地元のにぎわいや結束力を示す反面、取り仕切りの担い手が不足している。
- 新橋こいち祭りのほかに烏森神社でも祭事が開催されるなど、にぎわいを創出するイベントが多く企画されている。
- 烏森神社は御朱印などの多様なアイデアで魅力を発信し、明るいイメージを生み出している。
- 地域で作った新橋音頭が、地域資源でもあり文化的な魅力にもなっている。



交通結節点としての機能強化

- 新橋駅は今後 BRT や羽田アクセス線の開通などによりさらなる発展が予想されるので、港区の拠点の駅として位置付けてほしい。
- 新橋駅は鉄道や地下鉄が多数乗り入れ、首都圏全域から集まりやすく通勤にも便利である。
- 交通利便性は高いが、バリアフリー化や動線の整備が不十分であり、今後整備を推進していく必要がある。

まちづくりガイドラインや意見交換会について感想やご意見などお寄せください！

港区 街づくり支援部 都市計画課 街づくり計画担当（電話 03-3578-2210、港区役所本庁舎6階）

芝地区総合支所 まちづくり課 まちづくり係（電話 03-3578-3104、港区役所本庁舎1階）

〒105-8511 東京都港区芝公園 1-5-25